金沢市景観サポーターの軌跡

1期

「いいね金沢」（MROテレビ）出演

金沢の景観を考える市民会議

＜主な調査内容＞
- 古写真等の収集・整理
- 定点観測写真撮影・台帳作成
- 定点観測写真分析評価カルテの作成　など

2期

啓発用ＤＶＤの作成

景観勉強会

＜主な調査内容＞
- 木造高層建築物等とその周辺の景観
- 泉用水の景観と住民とのかかわり
- 街路樹が織りなす金沢の四季
- 水鳥と浅野川の景観とのかかわりに関する調査
- 舗装材から読み解く金沢の景観
- 沿道における広告物や建物の調査　など

3期

広告物除却パトロール

ケーブルテレビ（わがまち大好き）出演

＜主な調査内容＞
- 新景観資源探訪　～金沢駅西広場赤花さんぽ道の誕生～
- のれんが織りなす金沢の町並み
- 浅野川白波スロープ誕生
- 金沢の景観に相応しい看板
- 金沢の街あかり調査
- まちなかの小さな緑　～小緑地をたずねて～
- 金沢の美しい建築調査　～都市美受賞作調査～　など

4期

『金沢らしい景観を支える看板』取材

韓国文化放送取材対応

＜主な調査内容＞
- 街のうるおい　～街の中の自然～
- 金沢らしい景観を支える看板
- 街の記憶　～高度経済成長期の建物たち～
- 樹木を通して感じる金沢らしい風情ある景観
- 現代建築とまちなみ
- まちなかの石垣のある景観　～藩政期のおもかげを訪ねて古地図と歩く～
- まちなかの小さな坂と石段を訪ねて　など

5期

いしかわ景観教室

金沢都市美文化賞功労賞受賞

＜主な調査内容＞
- 交差点の景観調査　観光客目線で
- 金沢マラソン 気になった 沿道景観
- 浅野川の情景
- 自転車と共生する未来を考える（これからのまち）　～駐輪場の景観～
- 放埒な女から野暮な女へ　～文学作品から川筋景観の変化を考える～
- 金沢らしい趣を伝える看板
- 金沢の夕焼けスポット
- 街のうるおい　～犀川（橋の形と色・河川緑地・河川景観）～　など

6期

各種団体への講演

かなざわ景観協力賞受賞

＜主な調査内容＞
- 看板は街の顔～金沢の街を造った看板たち～
- 平成から令和へ～比べてみました～【定点観測】
- 金沢の眺望景観
- 金沢市まちなか区域の景観舗装
- 茶の湯が育む文化的景観
- 坂の下からと上からの眺望景観　など

看板は街の顔

～金沢の街を造った看板たち～

金沢の街は藩政期に城下町が造られたことから始まる。
戦災にも遭わず、大きな災害にも遭わなかったこの街は、
藩政期から現在に至るまでの建物が残り、重層性の高い街並みになっている。
その街の雰囲気をつくっている一つに看板がある。
看板は店の顔。
昔からの看板は、当時の街の歴史を伝え、人々の暮らしをも伝える。
店の顔は街の顔。
この街の重要な景観要素である『街の顔』を探しながら街歩きをしてみませんか。
きっと、新しい金沢の魅力が発見できることでしょう。

平成から令和へ

～金沢の景観～

2009年～2011年（平成21,22年度）で定点観測撮影した場所を再度撮影し、比較しました（定点数363か所）

変わらない景観

伝統環境保存区域
伝統的街並み

野町・泉地区

変わった景観

近代的都市景観創出区域
都心軸

武蔵ケ辻地区

気になった景観

←防災か景観か
八坂

無電柱化→
寺町通り

選定した場所

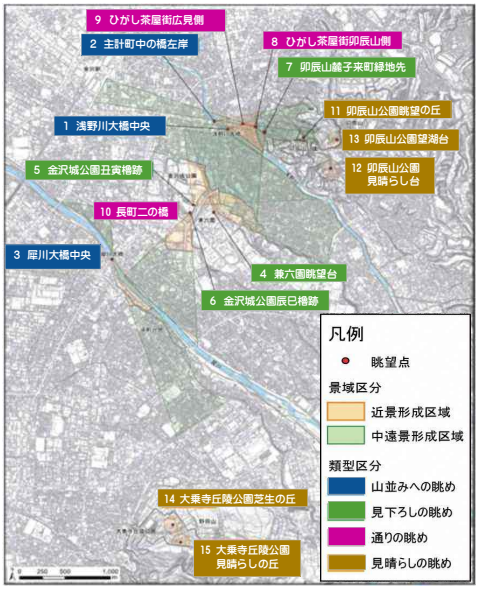
←大野町

海側幹線→
（直江町）

景観サポーター　2班

眺　望　景　観

眺望景観形成区域



● 眺望点

美しい眺望景観を形成するために必要な地点

1 浅野川大橋中央
2 主計町中の橋左岸
3 犀川大橋中央
4 兼六園眺望台
5 金沢城公園丑寅櫓跡
6 金沢城公園辰巳櫓跡
7 卯辰山麓子来町緑地先
8 ひがし茶屋街卯辰山側
9 ひがし茶屋街広見側
10 長町二の橋
11 卯辰山公園眺望の丘
12 卯辰山公園見晴らし台
13 卯辰山公園望湖台
14 大乗寺丘陵公園芝生の丘
15 大乗寺丘陵公園見晴らしの丘

● 眺望景観形成区域

眺望点からの美しい眺望景観を形成する区域

浅野川の清流と河畔の親水空間や川筋の街並みが一体となった情緒ある落ち着いた空間が、背景の緑豊かな卯辰山、浅野川上流の山並みの遠景が調和して美しい眺望景観を形成する

浅野川の右岸では黒瓦の建物が多く、左岸ではマンションが建ち並ぶ対照的な街並みとなっているが、左岸の背景には、金沢城公園や兼六園などの歴史的な緑の多い台地が見られ、歴史の重層的な眺望景観を形成している

卯辰山公園の緑と中心市街の建築物や遠景の日本海が一体となった景観で、自然と都市により形成された眺望景観となっている

茶屋街の歴史的町並みと、アイストップとなっている卯辰山の樹林が、落ち着いた雰囲気の眺望景観を形成している

金沢市景観サポーター
作製　2020年

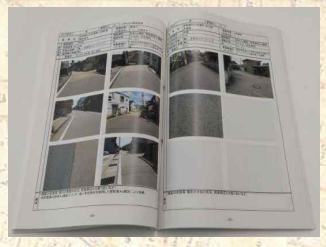
2019-2020
金沢市景観サポーター（第6期）「金沢市まちなか区域の景観舗装」　無電柱化（景観舗装）チーム

調査の目的・概要

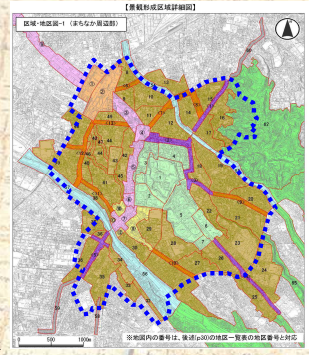
老朽化した舗装の改修や無電柱化等に伴う景観舗装検討の基礎資料の作成

【メンバー】
上坂達朗　川端すぎな　芹原俊輔※
吉岡佳寿芽　吉田芳弘　（五十音順）
※景観政策課

【調査概要】
- 景観整備が行われた道路を対象に調査
- 舗装種別や修景コンセプトなどを整理
- 景観舗装カルテとしてとりまとめる
- これらの舗装における課題と対策方法を検討



【調査範囲】（下図の青点線の範囲）
まちなか区域（無電柱化促進区域）

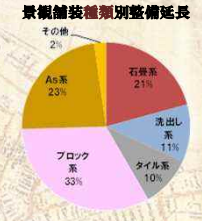


【景観舗装調査カルテ】（166区間－51km）
- 路線名：国・県・市道名（通称名）
- 路線情報：延長、歩道・植樹帯の有無、整備年
- 舗装種別：舗装種別、材料、色
- 景観整備のコンセプト：設計計画段階のデザインコンセプトなど
- 舗装の状態等：現在の景観舗装の状況、損傷の状況など

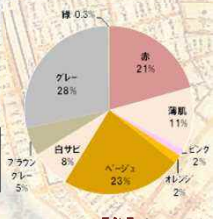
景観舗装の概要

【景観舗装の種類】

景観舗装種類別整備延長



景観舗装色別整備延長



【種類】ブロック系、アスファルト系が半分近く占めているが、石畳や洗出し系も多く見られるのが特徴。

【景観舗装の色】

【色】金沢の「地」になる色彩「木色（もくじき）」や特別な色として捉えられている戸室石の赤が、舗装の色に反映されている。赤系、ベージュ系が約半分以上を占め、グレー系など落ち着いた色が多くなっているのが特徴。

主な場所別の特徴

●金沢駅周辺と駅通り（都心軸）
【特徴】現代・金沢の玄関－石畳み・ブロック／赤系

もてなし広場

駅通り

戸室石の赤色を意識し赤系の御影石を用いて気品漂う玄関口を整備

●茶屋街
【特徴】江戸末期～明治～昭和初期－石畳み・洗出し

ひがし茶屋街

主計町茶屋街

にし茶屋街

100年後に残る街並みづくりとして、本格的な石畳舗装により整備

●金沢城公園・兼六園周辺・武家屋敷跡界隈
【特徴】江戸時代－鉄平石乱張り・洗出し

お堀通り

武家屋敷跡界隈

石垣をイメージした鉄平石乱張りの石畳と洗出しで江戸時代の風情を演出

●中心繁華街（都心軸）
【特徴】現代－タイル・ブロック／グレー系

上堤町

片町

グレー系のブロックやタイル舗装で品格を保ちつつ街並みを引き立てている

●明治・大正期の建造物周囲
【特徴】明治時代－赤レンガ

しいのき迎賓館前

国立工芸館広場

歴史博物館周囲

軍都、学都として栄えた金沢を象徴する建物に合わせたレンガ舗装で整備

●中心商店街
【特徴】現代／商店街の特徴－石畳み・洗出し

表参道

タテマチ

表参道は文字通り東・西別院の参道として、
タテマチは金沢のファッションタウンとして石畳で高級感を演出

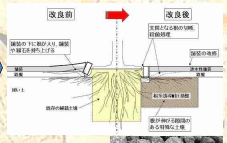
景観舗装の課題と対策（主なもの）

●舗装材料の調達に関する課題と対策

整備時期の違いや、補修時における材料の不揃い

近似色でランダム配置など工夫するなどの対策を検討する

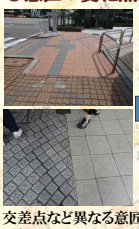
●耐久性に関する課題と対策



樹木根茎による路面の持ち上げ、段差の発生

根の生長をコントロールするなどの対策が有効

●意匠の変化点に関する課題と対策



交差点など異なる意匠が繋がる

前後の意匠を組合せるなどデザインで工夫する

フェーズアウトさせる

●視覚障害者誘導ブロックに関する課題と対策

石川県バリアフリー社会の推進に関する条例「施設整備の手引き」に準拠し早期改修が望まれる

メンバーが選ぶ金沢らしい景観舗装（主なもの）

主計町茶屋街
繊細なキムスコの町家ときめ細かく張り詰めた石畳が、独特の茶屋街風情を醸し出している。

石伐坂（W坂）
斜面緑地の大きな石垣に溶け込む石段は、上る人、下りる人を落ち着かせてくれる。

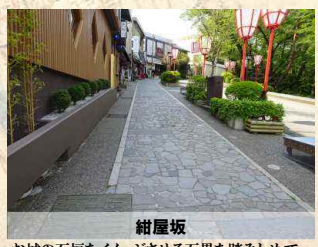
武家屋敷跡界隈　大野庄用水沿い
飾りのない素朴な舗装が土塀と用水の流れを強調し、武家屋敷跡界隈の風情を高めている。

里見町
どぶす（えんぞ）を生かし飾り気のない舗装は、こまちなみの気品を高めている。

梅の橋
背景の緑と木製高欄に調和した砂利道風の橋が、ひがし茶屋街へとやさしく誘っている。

もてなし広場
赤戸室石に似た赤色の石畳が、雪国金沢への来街客を温かく出迎えている。

尾山神社参道
藩祖を奉る尾山神社参道を、戸室石による石畳で特別な場所として演出している。


紺屋坂
お城の石垣をイメージさせる石畳を踏みしめて上る坂路は、名園への期待を高めている。

せせらぎ通り
和風基調のタイル舗装は用水の流れとともに、この街の人たちの思いと暖かさを感じさせる。

本多の森
軍都、学都を象徴する建物とレンガ舗装が、明治以降の金沢を偲ばせてくれる。

茶都・金沢

まちなかの茶室と

茶の湯が育む文化的景観

茶道王国とも呼ばれる「茶都・金沢」、金沢の文化の原点とも言える茶の湯は、前田家初代利家や2代利長が、千利休や織田有楽斎に学び、3代利常が、金森七之助、裏千家の祖仙叟を茶頭茶具奉行として招いたことにはじまる。以来、武士だけでなく儒者、医者、僧侶、町人にも浸透し、茶室も多く造られた。

豊富な和菓子 ・ 抹茶の老舗 ・ 茶道具の宝庫 ・ 活況の骨董会

文化の気配は、美術館で茶道具など素晴らしい作品と出会い、実物をじっくりと眺め、解説を読む。ゆっくり街を歩き、工芸家や職人の住む町筋、茶室、古美術、陶器店、漆塗店、茶葉舗、菓子舗で風を感じ、季節を知り、感性を豊かにしてくれる ・・・・ 金沢は、茶文化と景観が融合する街！

～ 市や県が運営する中心市街地の茶室 ～

坂の下から目線、坂の上から目線

多角的感覚で、新たな魅力発見

① 金沢城内	11ヶ所	④ 小立野台	11ヶ所
② 中心市街地	11ヶ所	⑤ 寺町台	11ヶ所
③ 卯辰山周辺	7ヶ所		